



特集

十分儲かる和牛繁殖経営！ それでも縮小する生産基盤！



賢治と
イーハトーブの
野菜たち

® 林風舎

第5回

マメ

十月の末

(童話)

林を通り抜けると、
そこが嘉ッコの家の豆畑でした。
豆ばたけは、今はもう、
茶色の豆の木でぎっしりです。
豆はみな厚い茶色の外套を着て、
百列にも二百列にもなって、
サッサッと歩いてゐる兵隊のやうです。

「豆(マメ)」。マメ科の一年生作物。
茶色の豆の木とは、収穫間近の豆で、茎も豆の
さやも茶褐色になっている。
茶色の外套とは、茶褐色に熟した豆の莢を外套
と表現。
「サッサッと歩いてゐる兵隊」は、畑の豆の茎の
列を兵隊の行進に見立てた表現。
童話「月夜のでんしんばしら」でも、列車の進行
で車窓に迫りくる電柱の列を、
兵隊のドデドデと行進する、という表現がある。

参考資料：岩手日報社発行「賢治のイーハトーブ植物園」より

純情産地発 クララー KLARA vol.794 2015.9

みんなの力で!



contents

賢治とイーハトーブの野菜たち	02	みんなの分教場	07
特集 十分儲かる和牛繁殖経営! それでも縮小する生産基盤!	03	イーハトーブの担い手便り	08
食から健康 ドクターズレストラン	06	純情むすめ活動記	09
		NEWS ワイドアングル	10

タイトルのKlara (クララー) は、宮沢賢治の手帳にのしるされている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。

1. 背景

和牛の繁殖事業は元来、水稲などの耕種農業との複合経営で成り立ち、そのほとんどが2〜3頭の規模で飼養管理されてきました。刈取った畦畔の草や野草、萱等を中心に給与し、不足の栄養分を濃厚飼料で補い、排出された糞尿は堆肥として還元され金肥の抑制に繋がっていました。

しかし、バブル期崩壊以降、3Kのみならず、生き物がいることで365日家を空けることが出来ないことから、代替わりを機に有畜農家から無畜農家へ変わる農家が後を絶ちません。本県においては一時期1戸1頭増頭運動、定年退職後の高齢者貸付け等で減少から微増に転じた時期もありましたが、現在は生産基盤の縮小に拍車がかかっているのが現状です。

2. 和牛の生産動向

肉用種（黒毛・短角・褐毛）の繁殖飼養戸数ならびに頭数は年々減少の一途にあり、農水省畜産統計によると平成17年に全国7万6200戸で1050千頭飼養されていたものが、平成27年には4万7222戸（17年比62%）で920・3千頭（17年比87%）と大幅に減少しています。

岩手県においても平成17年8640戸で5万9200頭飼養されていたものが平成27年には4950戸（17年比57%）で5万2300頭（17年比88%）と全国同様大幅に減少しています。

本県の減少要因は高齢化と東京電力の福島原発事故が大きな要因ですが、全国的に見ても依然、和牛繁殖に占める高齢者による小規模経営の生産比率は高く、今後も生産基盤が縮小していくことが予想されます。

5頭以上の増頭。

@70千円／頭。上限10頭／戸 ※全農預託の場合@100千円／頭

(5) 黒毛和種優良牛群能力確保事業…採卵提供協力金@250千円／頭・回

6. 全農本所の取り組み

畜産基幹産地登録制度

(1) 戦略Ⅰ…生産集団が対策期間中（1〜3年間）に50頭以上増頭。

計画頭数を上限に助成@100千円／頭

※個別経営主体の規模条件

① 規模拡大 5頭／戸／年の増頭とし、拡大1年後規模25頭／戸以上。

2年目以降の増頭要件も同様

② 新規参入 拡大1年後規模10頭／戸以上飼養2年目以降は①の増頭要件と同様

(2) 戦略Ⅱ…生産集団が受精卵移植（ET）により和牛子牛25頭／年以上の増産。

計画頭数を上限に助成@50千円／頭

7. 国・県等の繁殖素牛導入事業

各組織・団体においても、生産動向を鑑み様々な事業が組まれています。

(1) 国庫補助事業

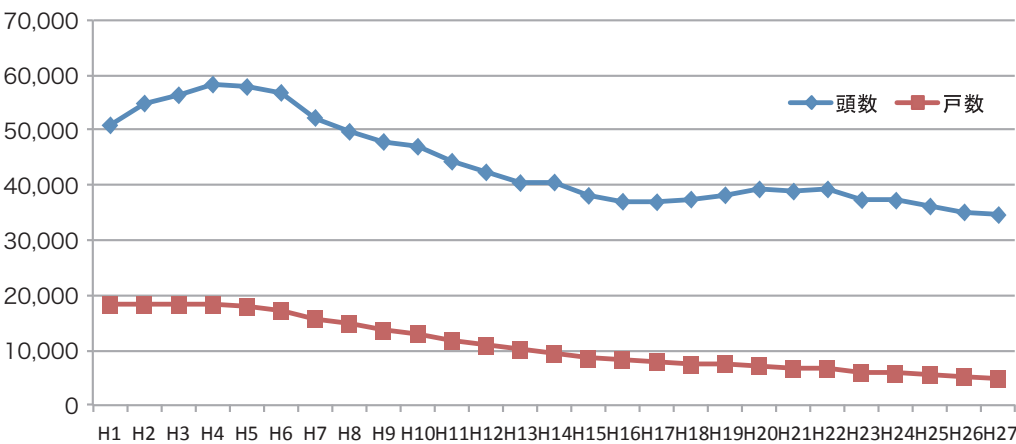
東日本大震災農業生産対策交付金…高能力牛の導入。@60千円／頭

(2) 県単補助事業

家畜導入事業資金供給事業…一般導入@46千円／頭。水田導入@55千円／頭

(3) 畜産業振興事業

■岩手における黒毛和種繁殖雌牛の飼養頭数・飼養戸数の推移



(公社)岩手県農畜産物価格安定基金協会調べ

3. 和牛生産の特徴

近年は、和牛生産においても子牛価格の暴騰から一貫経営化の傾向は見られるものの、他の畜種と異なり、生産サイクル（種付け―分娩―育成―肥育―出荷）が約40ヶ月と非常に長いこと、更には回転資金として寝るお金が極めて大きいことから、そのほとんどが繁殖事業と肥育事業とに分業化されています。

肉用牛経営安定対策補完事業

ア. 優良繁殖雌牛導入事業…優良雌牛導入@40千円／頭。高能力牛導入@50千円／頭

イ. 中核農家増頭奨励事業…中核農家増頭@80千円／頭。高能力牛導入@100千円／頭

(4) 市町村ならびにJA

独自に事業を組んでいる組織が多々ありますので確認願います。

8. その他事業

家畜導入事業以外にも、平成26年度より始まった国庫補助事業の畜産クラスター事業、県単補助事業並びに畜産業振興事業における低コスト牛舎整備事業等の様々な事業がありますので現在の自身の経営形態と基盤拡充後の経営形態を鑑みどのような組み合わせが経営にとってベストかを検討し活用することが、事業に命を吹き込むことになり、生産者個々の経営基盤拡充に繋がるとともに本県の生産基盤の維持に繋がります。

また、上記6. 7. においても肥育農家が一貫経営に移行するために活用できる事業もありますので確認願います。

9. 家畜市場課と和牛登録課との統合

昨年度まではチーム雫石として2課が連携し業務に当たっていましたが、1課体制となった今年度からは名実ともに販売と生産ならびに育種改良とが一体となって生産基盤の維持拡充に努めるとともに、生産指導課と連携し生産性の向上に努めます。

4. 子牛の価格動向

バブル期においては、接待交際費も現在に比べれば各社十分な時代であり、高級店を中心とした外食産業も隆盛を迎えていたことから、牛肉も高価格で取引され、結果子牛相場も高騰しました。

しかし、近年は生産基盤の減少が著しく、人口の減少や国民の高齢化による消費量の低下を上回るペースで生産が減少していることから、子牛相場は高騰しバブル期を超越して推移しています。

また、バブル崩壊後からBSEを境に肥育農家の規模拡大に拍車がかかり、大規模肥育農家においては定時定量出荷ならびにキャッシュフロー面の問題から導入頭数を減らすことも出来ないことで、高値相場にも拘らず一定頭数を必ず導入する傾向が強くなり超絶相場を形成する要因となっています。

5. 岩手県本部の取り組み

(1) 和牛繁殖基盤強化対策事業

ア. 和牛繁殖雌牛預託事業…預託期間5年間

イ. 和牛繁殖用雌牛導入助成事業…対象は当県本部和牛繁殖雌牛預託牛（素牛、妊娠牛（幹旋会含む）。@30千円／頭

(2) 和牛繁殖中核農家育成対策事業

ア. 飼養基盤確保対策事業…牛舎の新築、増改築。事業費の20%以内。上限10000千円

イ. 畜産資材支援助成事業…牛床マット、換気扇、ヒーター等。資材毎に助成単価設定

(3) 和牛育種基盤対策事業…育種牛の雌産子で認められた牛の保留ならびに導入@100千円／頭

(4) 和牛繁殖雌牛増頭緊急対策助成事業…3年以内で

10. 和牛繁殖以外の県本部畜産関係事業の取り組み

(1) 肥育牛生産基盤対策

ア. 県有種雄牛産子導入事業…牛経連会員。助成@50千円／頭

イ. 黒毛和種肥育牛生産基盤拡大導入対策事業…45歳以下の生産者または後継者。10頭以上かつ飼養頭数の10%以上増頭。@100千円／頭

(2) 養豚生産基盤対策 対象…豚経連会員

ア. 優良種豚導入対策…種豚導入。@20千円／頭
イ. 高品質豚肉安定生産対策…中物以上での出荷。@150／頭

11. 追記

事業によっては計画申請時期が終了しているもの、同一牛に重複出来るもの出来ないもの等ありますので詳しくは畜産酪農部へお問い合わせ下さい。





営農対策部 担い手対策課
技術主管
佐藤 守

集落型農業生産法人の 経営の概要

(1)財務の内容 (単位:千円・%)				
資産合計	流動資産	(内現金・預金)	固定資産	(内有形固定資産)
45,431 (100%)	24,213 (53.2%)	17,598 (38.7%)	21,218 (46.8%)	19,163 (42.1%)
負債・純資産	負債計	(内農業基盤準備金)	純資産	(内資本金)
45,431 (100%)	28,962 (63.7%)	10,868 (23.9%)	16,469 (36.3%)	9,206 (20.2%)

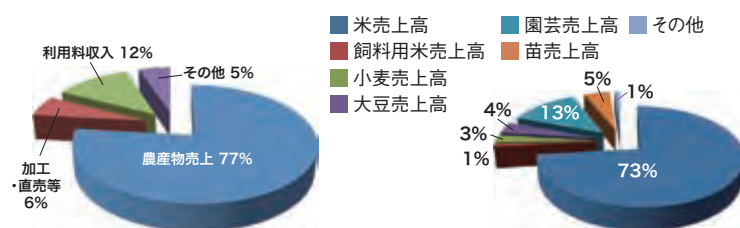
(2)純資産の内容 (単位:千円)				
	資本金	準備金等積立	利益剰余金	計
1法人平均	9,206	3,763	3,501	16,469
構成員1人当り	124	51	47	223
MAX	39,130	24,000	35,184	59,490

(3)農業基盤強化準備金の積立 (単位:千円・法人数)				
区分	期首	繰入額	取崩額	期末
1法人平均金額	9,113	4,040	2,286	10,868
実施法人数	26	17	8	25
MAX	34,524	31,500	18,157	41,167

(4)損益の内容 (単位:千円)					
売上高	売上原価	従事分量配当	売上総利益	販売一般管理費	営業利益
46,362	60,765	1,313	△15,715	9,548	△25,263
営業外収益	営業外費用	経常利益	特別損益	税引前当期利益	法人事業税
31,145	518	5,364	△4,209	1,155	486

(5)売上高の内容 (単位:千円)					
区分	売上総額	農産物	加工・直売	利用料	その他
売上額	46,362	35,589	2,731	5,672	2,370
構成比(%)	100	76.8	5.8	12.2	5.1
MAX	86,269	82,694	50,176	31,549	15,690

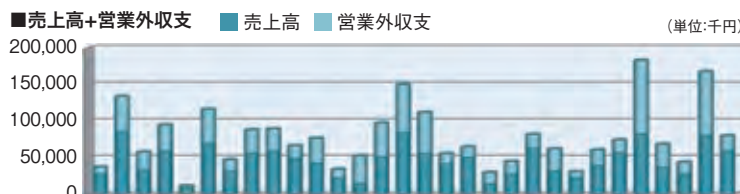
■売上高の概要



(6)農業生産部門別で500万円以上の売上のある法人数

区分	農産物分野				加工・直売	利用料
	米	穀類	園芸	苗		
部門として実施	27	19	19	12	10	25
500万円以上売上	27	5	11	4	5	10
1000万円以上売上	22	1	6	2	2	8

(7)30法人の売上高と営業外収入の概要



平成26年12月末現在、県内の集落型農業生産法人数は113法人(JA岩手県中央会)で、平成26年度事業報告書を頂戴した法人の財務及び損益の概要をまとめてみました。

データは紫波、花北、奥州及び一関地域の30法人で、平均の農用地面積が71ヘクタール、売上高4億636万円、農産物の売上額3億558万円で、4法人が売上高8000万円を営業外収入を加えると1億円を超す法人が6法人ありますが、10法人が単年度赤字決算となっています。

■農産物の生産・販売の概要 (単位:ha・千円)									
	計	米	飼料用米	小麦	大豆	園芸	他	苗販売	
面積	71.5	39.9	3.0	10.5	9.8	1.8	6.5	—	
MAX	246	185	28.6	57.4	40.4	10.8	—	—	
販売額	35,589	26,078	365	898	1,372	4,671	407	1,797	
MAX	82,694	73,988	3,977	13,144	7,658	26,575	—	14,288	
10a平均	49.7	65.3	12.1	8.5	14.0	259.5			

①平均売上高4億636万円、経常利益536万円、当期剰余金67万円となっています。

②売上高では農産物収入が77%、利用料・作業受託等12%、加工・直売6%となっています。

③農産物売上では米73%、園芸13%、苗5%、大豆4%、小麦1%、その他1%となっています。

④純資産額では資本金920万円、利益剰余金350万円に従事分量配当等として処理されています。

⑤純資産額と農業基盤強化準備金積立金の合計額の平均は2億733万円となっています。

今回の報告は県内の集落型農業生産法人の4分の1のデータで、平成26年度の財務諸表に基づいた法人の概要ですが、調査対象を拡大し継続的に経営内容を見ていくことが重要であると考えています。

引き続き、法人の協力を得て経営分析と経営指導が出来るようにデータを収集・整理すること、農業生産法人の設立指導している皆さんと相互に連携し、法人化指導に加えて法人の運営指導にも関わられるようにしたいものです。

食から健康

Doctor's restaurant

～ドクターズレストラン～



自宅で作ってみましょう

料理監修／管理栄養士 白井名津子

材料(2人分)

絹揚げ2個、夕顔200g、にんじん20g、鶏挽き肉60g、油小さじ1、だしの素小さじ1、水大さじ2、めんつゆ大さじ1、片栗粉小さじ1、おろし生姜・大根おろし・小口ねぎ・白ごま適宜

1 夕顔は7～8mmの厚さに、にんじんは2～3mmの短冊切りにする。

2 鍋に油をひき、鶏挽き肉を炒め、色が変わったら夕顔とにんじんを加える。だしの素と水を加えたらふたをして柔らかくなるまで煮る。

3 めんつゆで味を調え、水溶き片栗粉でとろみをつける。



4 絹揚げはフライパンか魚焼きグリルで外側がカリッとなるまで焼く。

5 4に3をかけ、大根おろしとおろし生姜、小口ねぎと白ごまを散らして出来上がり。



【付け合わせ】
とうもろこしのすり流し…すり流しは和風のポタージュスープ。茹でたとうもろこしをミキサーにかけ、だし汁と塩で味を調える。エネルギー101kcal。
ゴーヤとみょうかの梅肉和え…薄く切ったゴーヤとみょうかを塩もみし、梅肉とかつおぶしで和える。エネルギー11kcal。

旬の食材

夕顔：冬瓜に似ている瓜の一種で、乾燥させるとかんぴょうになる。乾燥させた状態ではカルシウムや鉄などミネラルが豊富に含まれ、生の状態でも食物繊維やカリウムが多い。特に水溶性の食物繊維が多いため、生活習慣病の改善にも役立つ。

とうもろこし：とうもろこしは糖質が主体だが、ビタミンB群やミネラル、食物繊維を多く含む。日本では野菜として食べられるが、分類上は「穀物」であり、とうもろこしを主食にしている国もある。特に日本で栽培されるものは甘味も強く、糖質が多いため、食後に食べる際には主食の量などに気をつけたい。

猛暑が去ったあと、なんとなく体のだるさや調子の悪さに悩まされてはいませんか？夏の暑さや強い紫外線、冷房での寒暖差、夏バテによる冷たい食べ物や飲み物中心の食生活などが重なり、夏の終わりから秋の初めにどつと「夏疲れ」が出てきてしまっています。

疲れた身体は消化吸収機能も弱っていることが多いので、今月は消化が良く胃腸にやさしい献立をご紹介します。岩手は昼夜の寒暖差が大きく、水にも恵まれた大豆づくりに適した風土で、盛岡市は豆腐消費量日本一を誇ります。今回は絹ごし豆腐を揚げた「絹揚げ」を、旬の夕顔とやさしい味付けで仕上げました。

絹揚げの 夕顔あんかけ



「地域の財産である農地を守り ふるさとを維持したい」

農事組合法人きら里つぎまる【奥州市江刺区】

キラリ輝くふる里づくりを担う

農事組合法人きら里つぎまるが所在している奥州市江刺区次丸地区は、中央部を人首川が貫流しており水稲を中心に畜産、野菜及びりんごの複合経営が行われている中山間地域の農業地帯です。

同法人は奥州市江刺区の中心から北東に約5kmの地点に有って、玉崎、北部及び高間ヶ岡の3集落をエリアとしており、平成24年から着工さ



構成員とTAC

れている農用地基盤整備事業の進行に併せて設立された次丸大豆受託組合を母体に、2年を経た本年3月にオペレーター15名で農事組合法人を設立しました。

法人の名称は「次丸地区をきらり輝く、景観が素晴らしく持続可能なふる里として維持したい」との願いを込めて決定され、菅野博之（67歳）代表理事を筆頭に専業農家、元自動車整備士や運転手、そして40歳の就農者による多彩なメンバーで集落営農をスタートさせました。メンバーは経営者としての自覚と責任を持ち、農業情勢の変化に的確に対応し素早い判断を行う同志として結束、初年度は33畝の農地を集積して水稲15畝、大豆18畝を栽培、地域農業の担い手組織として法人の経営確立に取り組んでいます。

基盤整備事業を活用して
地域農業を変える

次丸地区の基盤整備事業は、地区内農用地100畝の内81畝の区画整理と農道やパイプラインの整備により、担い手へ農地の集積を図り効率的で収益性の高い農業を行うことで地域の農地を守り農業を継続することを目的に着手しました。現在52畝（60％）の区画整理が完了、残り40％の工事と暗渠排水工事を残しての法人経営のスタートで、地区内2営農組合も今年度まで活動するなど、法人に全て集約されない状況にありますが、性急に事を進めるのでなく既存の組織や出し手農家の意向を尊重して、走りながら考えて方向を結論づけようとしています。

地区内には75戸の農家があり、3集落に跨る基盤整備事業の取組みで集落営農の体制を盤石なものにするためにももう少し時間が必用であり、中山間地域等直接支払制度の既存の3協定集落の統合や新たに多面的機能支払制度を導入するなど、地域全体を包括した制度導入により集落営農の環境を整備しようとしています。

基盤整備事業の導入を契機に地域農業の将来を考え、話し合いを通じて基盤整備や農地の集積の必要性を理解して、担い手に地域農業経営を託し協力できる関係を構築しようとしています。基盤整備事業が終わる換地業務の完了の暁には、農業生産法人の体制が確立され独自の集落営農に取組まれていると考えます。

地域農業・地域経営を担い
責任を果たす

農業生産法人が設立して4カ月が過ぎた8月上旬の猛暑の中、水稲の出穂がはじまり大豆の管理作業が一段落付いた状況で5名の組合員からお話を伺いました。

法人の当面の課題は、稼げる農業生産法人を目指して米に次ぐ品目である大豆の安定生産により、時給1500円の労賃を支払うことができる経営を早急に確立したいこと。圃場整備により畑地として創出した農地12畝を活用して、トマトなど



大豆栽培



大豆圃場



TAC活動

園芸品目を導入することにより、地域内の労働力を雇用して収益性の高い農業経営を実現するために、責任者が研修を行うなどの準備を進めているとのことでした。

米価や水田営農の今後の見通しについて意見交換する中で、農業生産法人も健全経営を目指しておりJAの経営者と同じように経営責任を果たさなければならないこと、法人経営者に系統利用による法人の経営モデルを示すことや法人に対してJA系統の出資についても検討して欲しいなどの要望が出されました。また、日本食の輸出や東京オリンピック開催などによる外国人観光客への食の提供にあたり、農産物のグロバルGAP取得を全農として取り組んで欲しいという提案を頂きました。

岩手県内でブランド力の高い農産物を生産し提供している江刺農業の中心的経営体として活躍されますこと、基盤整備により創設された農用地を活用して生産性の高い集落営農を実現されますことをご期待申し上げます。

農事組合法人きら里つぎまるの概況

- 代表：代表理事 菅野博之（67歳）
- 設立：平成27年3月23日
- 所在地：奥州市江刺区玉里字蓬田50-1
- 組合員：5人
- 経営面積：平成27年計画 33ha（水稲15ha、大豆18ha）
- 施設機械：事務所



『幸を呼ぶ』さんと踊りで心をひとつに



2015いわて純情むすめ
山口 菜那

8月4日、盛岡さんさ踊り最終日。私たちは、約1ヶ月間の練習を経て、本番を迎えました。

先生は、1人1人の踊りをチェックし丁寧指導してくださいました。しかし、私はさんさ踊りへの参加が小学生振りで、果たして本番までに間に合うのだろうか不安でした。経験値が皆それぞれ違い、動きの癖もそれぞれにあったため、全員の踊りを揃えることは難しかったため、休憩時間に不安な部分を確認し合い、皆が弱音を吐く私を励ましてくれることもありました。本番



直前には、沢山の人や響き渡る太鼓の音、熱気で緊張がピークに達しましたが、5人で気持ちを合わせてパレードに臨みました。当日、沿道には沢山の方が見に来て下さいました。私たちの踊りに合わせて楽しんで

うに踊って下さる方もいらっしゃって、さんさ踊りの楽しさを改めて実感しました。また、写真を撮って下さったり、声援を頂いたり、多くの方々が私たちに応援して下さいているということを知ることができました。そして、沿道の皆様の声援に励まされ、5人で最後まで精一杯踊ることができました。純情むすめとしてのパレードへの参加は、大変貴重な経験となりました。

純情むすめとして認定を受けてから2ヶ月が経ちました。たった2ヶ月ですが、こんなにも中身の濃い2ヶ月は初めてです。これから多くのことを吸収しながら、笑顔絶やさず、岩手の魅力を伝えていきたいです。



笑顔が
はじける

純情むすめ
活動記

一生懸命
踊りました!!

JA全農いわての 純情人

じゅん じょう びと

趣味・特技

読書、お菓子の新商品チェック、ランニング、早起き

現在の担当業務

現在は先輩方のご指導のもと、様々な仕事をお手伝いさせてもらっています。主に広報業務に携わっておりまして、HP、SNSの更新や全農ウィークリーの記事作成など、文章を書く仕事が多い印象です。また、JAタウンの店長となるべく、日々修行中です。JAタウンとは、本会が運営するインターネット上のショッピングモールで、JA全農いわては「いわて純情館」というショップを運営しています。今年度の目標は、いわてのおいしいものを発掘し、「いわて純情館」の商品ラインナップを充実させることです。より多くの方々に利用していただけるよう、頑張ります！

これからどんな職員になってみたいか

実際に広報業務に携わってみて、内部、外部の様々な人と協力しながら仕事を進めていくことの大切さを実感しました。何事にも真摯に取り組み、信頼してもらえるような職員になれたらいいと思います。先輩方の良いところを、お手本にしていきたいです。



管理部 総合企画課
千葉 瀬里奈さん（25歳）

TAC活動の充実をはかる

8月18日(火)

平成27年度TACスキルアップ研修会

JA全農いわて営農対策部は花巻市内で平成27年度TACスキルアップ研修会を開催し、各農協や県連・JA全農いわてのTAC、営農担当職員ら38人が参加しました。

研修会では株式会社ベジフルの小泉嘉美代表取締役社長より「今後の青果物流通とJAの対応」～TAC活動と営農販売事業の連動～という題目でご講演をいただいたほか、「TAC活動のあり方について」という議題でグループ討議を実施し、TAC活動レベルの向上をはかりました。



TACの役割、活動のありかたについて再確認しました

若手指導者の育成をはかる

8月11日(火)・12日(水)

「酪農プロ養成塾」開催

岩手県乳質改善協議会は八幡平市にて、平成27年度「第2回酪農プロ養成塾」研修会を開催し、農協の酪農担当職員や県の改良普及員など47名が参加しました。本研修は若手の酪農指導者を養成することを目的として実施するもので、今年度は計3回の開催を予定しています。

今回の第2回研修会では、飼養管理をテーマに岩手県やJA全農いわての酪農担当職員らが講師となり、土壌管理やエサの原料などに関する講義を実施したほか、実際に牧草地やTMRセンターへ足を運び現場研修・視察をおこないました。

講師を務めたJA全農いわての大津信一生産指導課長は「酪農は非常に難しい産業。この研修会を通して、岩手の酪農を背負う本当のプロ指導者が一人でも多く育ってくれば」と期待を述べました。



編集後記

岩本職員に代わりまして「クララ」新担当となりました、今月の「純情人」の千葉と申します。今月号より、とりまとめをさせていただきます。自分のデジカメも持ったことがない私ですが、広報担当として写真撮影の技術を向上させるべく、目下奮闘中です。未熟者ではございますが、新しい取り組みやイベントなどご紹介できるよう頑張りますので、よろしくお願いします！

また、来月以降も引き続き「純情人」コーナーにて新入職員を順次紹介予定です。どうぞご期待ください！

（千葉）

「オールいわて」の取り組みを強化

7月30日(木)

平成27年度 いわて純情りんご販売対策会議

JA全農いわて園芸部は花巻市内のホテルで、平成27年度いわて純情りんご販売対策会議を開催しました。

いわて純情りんごの本格的な出荷時期を迎えるにあたり、重点青果市場・JA・関係機関が集まり、情報の共有をはかるとともに、生産から販売まで関係機関が連携した取り組みをおこなうための会議です。

平成27年度の出荷販売目標は、前年実績比121%の100万ケース、取扱高は前年実績比111%の25億円。販売対策として、生産者参加型フェアの開催や、品種を組み合わせたギフト商品の提案などをおこなうとともに、年々出荷量が増加している本県オリジナル3品種についても販売を強化していくことで一致しました。



今年度の花き販売について協議する様子

農業体験で夏の思い出作りを

7月28日(火)・29日(水)

ワクワクサマースクール

7月28日、29日の2日間、岩手県内の小学生4～6年生を対象に、自然体験や勉強に取り組むイベント「ワクワクサマースクール」が開催されました。

JA全農いわていわては、子供の頃から農業を身近に感じ、興味をもってもらいたいとの思いからこのイベントに協賛しており、活動の中に農業体験を組み込んでいます。

今回の農業体験は、紫波町の越田農業生産組合にお邪魔し、加工用のトマトの収穫体験をおこないました。

指導をいただく生産者の方から、トマトの取り方を教わった子供たちは、畑に入り、きれいに色づいたトマトを一生懸命探していました。収穫したてのトマトを食べてみたり、袋一杯にトマトを収穫したりと、農業の楽しさを体験した子供たちでした。



収穫体験の様子



袋いっぱいトマトを頑張って運びます

「いわて牛」の魅力をPR

8月8日(土)

盛岡駅前で牛肉試食会

岩手県農協肉牛経営者連絡協議会による「いわて牛」試食会がJR盛岡駅前「滝の広場」で開催され、訪れた人々に「いわて牛」焼肉が振舞われました。この取り組みは、県内外の消費者に県産農畜産物のおいしさを知ってもらうことを目的に、さらなる普及と消費拡大をめざし平成24年度から毎年実施されています。

当日は生産者をはじめ、県、流通関係者、JA全農いわて職員らが協力しておよそ1,500人前の牛モモ肉を次々と焼き上げ、観光客を中心とした駅利用客に提供しました。また県産野菜や牛乳が無料配布されたほか、2015いわて純情むすめによるクイズ大会なども行われ、会場は大賑わいとなりました。

JA全農いわては今後も、岩手県産農畜産物の啓蒙・普及と消費拡大に向けた取り組みをおこなっていきます。



2015いわて純情むすめお手伝い

甲子園へ向けて栄養補給を

7月29日(水)

花巻東高校野球部へ県産食材を贈呈

JAいわて花巻とJA全農いわては7月29日、第97回全国高等学校野球選手権大会に出場する花巻東高校硬式野球部に、花巻産の米「ひとめぼれ」100kgと県産豚肉1頭分、支援金を贈りました。

JA全農いわてからは高橋一樹総務人事課長が同校を訪れ、佐藤唯斗主将ら野球部代表の3人を激励しました。目録を受け取った高橋樹也投手は「米と肉からパワーをもらい、全力で戦ってきます」と大会への決意を述べました。佐々木洋監督は「地元の食材が、いつも選手たちに力を与えてくれて感謝しています。宿舍で栄養を付けて頑張ります」と話しました。

JA全農いわては毎年、県産農畜産物の認知度向上と甲子園出場校の活躍を願い、県産農畜産物と支援金を提供しています。



甲子園での活躍を期待します



今回提供された牛ももかたまり肉



試食会は大盛況でした

貯める。食べる。蓄える。

明日へつなぐ、

確かなしあわせ。

JAバンク



年金定期貯金 結いの恵み

年金定期貯金「結いの恵み」お申込み＆満期到来でうれしいチャンス!

お申込み
いただくと
抽選で!

全国で年間最大**193,400人**^{*1}に
「ニッポンの恵み」(8,000円相当)をプレゼント!

JAバンク年金定期貯金「結いの恵み」にお申込みいただくと、
自動で抽選にエントリー。JAタウンがおすすめする全国の
農畜産物が抽選で当たります。

当たると選べる、ニッポンの恵み

JAタウン「結いの恵み」ギフトカード



JA全農が運営するネットショップ「JAタウン」でのお買い物にご利用可能。約100の
ショップ、5,000点を超える商品の中から、
四季折々の国産農畜産物や特産品8,000
円分(税込)がご購入いただけます。

JAタウン <http://www.ja-town.com/>

「JAタウンおすすめコース」

「JAタウン」がおすすめする国産農畜産物や特
産品10種類の中から、ご希望のギフトをお選び
いただけます。



※写真はイメージです。

さらに、
満期時に
抽選で!

全国で年間最大**48,360人**^{*2}
にさまざまなジャンルから選べる
暮らしにいいもの、プレゼント!

国産の農畜産物、リビング、ファッション、
趣味、健康などのジャンルからお好きな
アイテムを選べるオリジナルギフトカタログ
(8,000円相当)が抽選で当たります。



※写真はイメージです。

*1. 【各期における応募口数の総数が238,500口以上の場合】 当選総本数は、1〜4期を通じ193,400本(各期あたり48,350本(各期均等数))
【各期における応募口数の総数が238,500口に達しない場合】 この場合、当選口数が全国で年間最大193,400口にならない場合がございます。
当選総本数は、当選率を20.3%として算定される本数となります。

賞品及び記載内容が、予告なく変更となる場合がございます

*2. 【各期における応募口数の総数が238,500口以上の場合】 当選総本数は、1〜4期を通じ48,360本(各期あたり12,090本(各期均等数))
【各期における応募口数の総数が238,500口に達しない場合】 この場合、当選口数が全国で年間最大48,360口にならない場合がございます。
当選総本数は、当選率を5.1%として算定される本数となります。
満期時抽選に抽選の対象となるのは、お申込み1年後の満期を迎えられた方のみとなります。



私たち全農グループは、
**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**
になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA 全農いわて 総合企画課
JA 全農いわてホームページ

〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL019-626-8615 FAX019-653-6145
<http://www.junjo.jp>

PRINTED WITH
SOYINK™